

愛媛県西条市で得られたヒナハゼ

鎗田めぐ¹・山本貴仁²・山川宇宙³・清水孝昭⁴

¹広島大学大学院統合生命科学研究科基礎生物学プログラム

²西条自然学校

³筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻

⁴愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Redigobius bikolanus* ヒナハゼ (WMNH-PIS13225)

種の記録

Gobiidae ハゼ科

Redigobius bikolanus (Herre, 1927)

ヒナハゼ(写真1)

標本 和歌山県立自然博物館魚類標本(WMNH-PIS)13224–13230, 7個体, 13.8–23.8 mm SL(標準体長), 渦井川水系室川, 2022年5月21日および9月10日採集;13231–13234, 4個体, 13.0–16.8 mm SL, 加茂川, 2022年9月10日採集;13225, 1個体, 18.4 mm SL, 加茂川, 2022年9月11日採集;13236–13238, 3個体, 17.6–21.6 mm SL, 中山川水系小松川, 2022年9月11日採集。いずれの採集地点も愛媛県西条市内である。

種の特徴

体は太短く側扁する。頭部腹面にヒゲがない。頬に鱗がない。体側の第1背鰭下に明瞭な黒色横帯がない。これらの特徴は明仁ほか(2013)および瀬能ほか(2021)のヒナハゼに一致する。

備考

本種は、国内では石川県および茨城県から琉球列島にかけて分布する(瀬能ほか, 2021;山川ほか, 2021;外山ほか, 2021)。愛媛県では宇和海流入河川で普通に見られ(辻, 2015), 瀬戸内海側では肱川および重信川から記録されている(辻・松田, 2021;清水・水野, 2002)。今回採集された標本は、愛媛県燧灘流入河川における初記録となる。

引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索—全種の同定—, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 1347–1608, 2109–2211.
- 瀬能 宏・鈴木寿之・渋川浩一・矢野維幾. 2021. 新版日本のハゼ. 平凡社, 東京. 588pp.
- 清水孝昭・水野信彦. 2002. 松山市産淡水魚類目録. 松山自然環境調査会(編), 松山市野生動植物目録2002. 松山市環境保全課, 松山. 23–26.
- 外山太郎・山崎和哉・大森健策・金子誠也・中嶋政明・加納光樹. 2021. 茨城県久慈川とその周辺河川で採集された南方系魚類. 茨城県自然博物館研究報告, (24): 77–84.
- 辻 幸一. 2015. 愛媛県岩松川水系の魚類相. 徳島県立博物館研究報告, (25): 1–24.
- 辻 幸一・松田久司. 2021. 肱川水系の魚類相—標本を中心とした記録—. 南予生物, 20: 12–33.
- 山川宇宙・山下龍之丞・碧木健人・津田吉晃. 2021. 石川県で採集されたカワアナゴおよびヒナハゼ. 南紀生物, 63(1): 63–66.

(2022年12月2日受理, 2022年12月2日公開)

連絡先: 鎗田めぐ(e-mail: megyaritafrog@gmail.com)

(Meg Yarita, Takahito Yamamoto, Uchu Yamakawa and Takaaki Shimizu. 2022. New record of *Redigobius bikolanus* (Gobiidae) from Saijo City, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 22020)